|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2022第1,2,3 RUTC答え24(38)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | | | | |
| 2022年9月17日～ 9月18日週間祈りカード | | | | | |
| △産業宣教/ RTS 主日1講  RTSと産業人(使18:1-4) | △レムナント伝道学  ユダヤ人を生かすRT(使1:8) | | △核心/散らされた弟子たち/ RTS主日2講  RTSと世界宣教(使27:24)  RTSと散らされた弟子たち(ロマ16:23) | | |
| |  |  |  | | --- | --- | --- | | 教会葛藤、重職者葛藤、牧会者葛藤 | | | | 3団体 | | | | ネフィリム  運動する | 専門化(関係) -組織を組んで  表に出さず専門に従って行く | 力があるから  霊的作品を作る |   △すべての教会信徒のタラントを見つけるのが教会だ。罪を犯した人も悟るようにさせて、正しく立つようにさせるのが神様のみこころだ。かえって上手にする人は、神様の恵みであることを教えて、もっと大きい働きをするようにさせるのが教会だ。私たちの中に専門家が多いのに、専門化(関係)ができずにいるのだ。  □序論  1.常識-客観性　　　　　　　2.私のこと-主観性  3.本質(福音) -霊性(本質を見つけること)  □本論\_ RTSを育てることが一番重要な産業  1.先進国-大学(RTS-産業人の疎通の場)  1) Black Diamond 　2) Round Table 　3) Think Tank  △遠く見て、その国の人材の中で、福音を受ける子どもたちが出てくれば呼んで、RTSに入学させて勉強させて、ここで按手を受けて戻るように学費、生活費を助けるのだ。ビザの問題がくるから家族として、会社職員とするのだ。  2.パウロチーム-状況、出会いの条件、疎通、目標、すべてが会堂だった。RTS学生たちのうちに時代を動かす弟子が確かにいる  1)使17:1 　　2)使18:4　　 3)使19:8  3.特別参加(特講)  1)才能寄付　　2)物質寄付  3)宣教戦略-ここに多くの宣教戦略がある。本当の弟子は神様がみな準備しておかれた。  □結論\_まことの伝道(宣教)をするには、あらかじめ準備-メッセージ準備、適応、訓練、言語など  1.昔のこと(傷) -霊的ながん、傷を変えなければならない。  2.今日(葛藤) -今日の多くの葛藤を越えるようにさせるべき。  3.未来(確信)-未来は私が準備することでも、見つけることでもない。神様が与えてくださることを確信しなければならない。  △一つのことをしても、事実通りすればつながる。学校側で、良い使命を持って事業を正しくする方々を覚えておいて、外国で人材が1人発見できれば、結びつけるのだ。これをキャンペーンで行えば偽物がつく。それゆえ、イエス様は弟子を募集することなく選別された。多数には力のわざを行われたが、実際のメッセージは少数に与えられたのだ。群衆には力を見せられたが弟子には十字架と死について語れた。 | □序論  レムナントは勉強するとき、基準がみな生かさなければならないが、ユダヤ人を生かすところに基準を置かなければならない。これを地の果てだと見る。  □本論  1.ユダヤ人分析  1)三冊-タルムード、トーラー、シェマをほとんど覚えるほど読む。その理由は何だろうか。  2)偉人-偉人の話をするようにさせる。  3)安息日厳守-ユダヤ人は安息日を絶対厳守だ。「礼拝」を絶対にささげなさいということだ。  4)成人式-タラントを発見すれば成人式をする。  5)専門性-成人式の後には専門家を付けて専門性を持つようにする。  6)会堂-専門性を持つようになれば、会堂にみなつなげて入る。  7)ロッジ-本格的な信仰生活が始まるのがロッジ(Lodge)だ。  △成人式、専門性、会堂、ロッジは「現場」に行く前に、すべて掌握してしまうのだ。本三冊と偉人を読んで礼拝を正しくしなさいと言う理由は簡単に「タラント」を発見するようになるためだ。  2.失敗(問題)使1:8 -それゆえ、ユダヤ人はとても重要な失敗をするようになったのだ。  1)エルサレム　2)ユダヤ　3)サマリヤ　4)地の果て  △ここでイスラエルは失敗したのだ。実際に多くの「答え」のゆえに、「福音」をのがしたのだ。  3.計画-神様の計画だ。それで、これはわざわいというよりは別の話だ。  1)奴隷　　2)戦争　　3)捕虜　　4)属国　　5)流浪の民  △ここで出てきた単語が「切り株、残りの者、散らされた者、旅人」だ。この人々が残りの者の中で、福音を伝えたのだ。それゆえ、私たちが残りの者。英語ではレムナントだ。ユダヤ人が多くの「成功」が来ると、「福音」をのがしてしまい、このようになったのだ。それゆえ、神様は「回復」をさせるのだ。それゆえ、神様が次世代を立てられるのだ。これが「レムナント」だ。  □結論  これから、RTSが学生たちをたくさん募集して、多くの予算ができて豊かになるのは、悪いことではない。しかし、学校を置いて祈る方々は、そのような魅力に惹かれてはいけない。それゆえ、奴隷、戦争、捕虜、属国、流浪の民になったのだ。私たちは、レムナント運動だ。 | | 重要なメッセージであるので、祈りの課題として握らなければならない。  □序論\_偽物　本物←福音  本物の人々を通して神様は働かれる。本当に伝道、宣教をしたいのか。  1.弟子運動-イエス様が切なく語られた弟子運動が理解できるだろう。あらゆる国の人々に行って弟子としなさい。病人に手を置けばいやされる。小羊を飼いなさい。力を与えるから地の果てまで行きなさい。  2.教会運動-本当に福音運動をしようとするなら、教会中心にしなさい。宣教も教会を通じてしなさい。  3.全体運動-EMS  RTS  RU  小-大　　　　　　協議体  RGS、RLS  　　　　　　旅程  まことの宣教をするには、全体がともに行く全体教会運動をしなさい。本部だ。  EMSはみな崩れた。外国にあるEMSは管理できずにいる。全体運動でしなくて、個教会が小学校と大学をしてもかまわないが、その中にいるレムナントには、相当な損害を与える。それゆえ、RGS、RLSを建てた。それらを統合させることができるところはRTSとRUだ。国家が認めるほどの協議体を作って、つなげなければならない。レムナントが育って、旅程を行っているが、レムナント宣教局で全体を見て検討、分析して紹介しなければならない。この部分は、本部とつなげるだけであって、本部に任せてはいけない。チームになって学校を知っている人がすべきだ。  □本論  1.RTS-RU伝道・宣教の門-RTS、RUを通して伝道、宣教の門を開けなさい。  1) 237-5000種族につなげることができる最もはやい道だ。  2)派遣される人を訓練して派遣しなければならない。  3)現地人を招いて訓練させるのだ。  4) TCKをRTS、RUで動かしなさい。 | | 2.内容- RTS、RUで世界を動かす内容だ。それゆえ、学校だ。  1)使17:1-4(キリスト) -なぜキリストが必要なのか。キリストはどんな条件でなければならないのか。十字架で処刑されて復活されなければならない。それゆえ、イエスがキリストだ。  2)使18:4(礼拝) -礼拝ひとつですべてが終わることができる祈りを見つけ出さなければならない。  3)使19:8(神の国) -神の国  3.目標-ローマ  1)サタンのとりでを崩しなさい(使19:21).  2)ここに属している組織(使23:11)  3)勢力を変えてあげなさい(使27:24).  □結論\_散らされた弟子たち- RTS、RUの目標  福音のために死なないで残りの者、レムナント、旅人、散らされた者  1.RTS-この人々をRTS、RUで徹底的に管理しなさい。  1)派遣された弟子　2)来ている弟子　3) TCK  2.非対面-とても大きいので、初めには非対面でしなさい。  1)書簡14巻をパウロが書いた理由  2)タラッパンの伝道資料を非対面で活用しなさい。大学に仮想教会から開けてみなさい。  3)対面化(弟子) -非対面で占領して対面化にするのだ。これが弟子だ。  3.背景-隠れた答え(ロマ16:25-27) -神様が世々にわたって長い間隠されていて、現わされたと言われているが、誰が防げることができるだろうか。  △本当に神様が願われるのは、RTS、RU中心に弟子を育てなさい。経済問題に気を遣わないようい。一人ひとりをのがさずに、最善の正しい道を行くように助けてあげなければならない。傷ついた子どもたちは、いやしてあげなければならない。 |
| 2022第1,2,3 RUTC答え24(38)(社)世界福音化伝道協会　www.wedarak.net | | | | | |
| 2022年9月17日～ 9月18日週間祈りカード | | | | | |
| △区域メッセージ  レムナント運動と私の24(Ⅱテモ2:1-7) | | △聖日1部礼拝/ RTS 主日  最後の宣教地(ヨハ3:1-16) | | △聖日2部礼拝/一般信徒宣教献身礼拝  サマリヤ伝道(ヨハ4:13-26) | |
| 奴隷、捕虜、属国の民、流浪の民、散らされた者、旅人  残しておいた者  ↓  残った者  　　　　　Remnant  残りの次世代、捨てられた者(ゴミ)  △レムナント運動と私の24は、私たちが一番味わわなければならない祝福だ。神学をする理由は、神様のみことばを正しく見ようとすることなのに、神学のゆえに神様のみことばを正しく見ないようにすれば大変だ。福音が必ず宣べ伝えられなければならないので「奴隷、捕虜、属国の民、流浪の民、散らされた者、旅人」として行き、この人たちの中に、神様が福音を伝えるために「残しておいた者」がいるのだ。その中で育った次世代が変えたのだ。これを人の言葉で「残りの者」、英語で「Remnant」と言う。このことばは、「残りの次世代、捨てられた者」とも言い、おかしなことに「ゴミ」を言う時にも使った。私たちが見るとき、ゴミのように見えるが、神様がご覧になるときは、残りの者だ。この単語は、聖書でキリストの次に重要な単語だ。  □序論\_回復  聖書には時代ごとに残りの者をエジプトに、荒野に、ペリシテに、多くの「難しい」ことの中に送られた。実際には「世界」の中に送られたのだ。  □本論  1.レムナント  1)残りの者-神様の契約を回復する者  2)残る者-神様の力を回復して人を生かす者  3)残れる者-暗やみ文化を福音文化にする残れる者  4)残す者-次世代を生かさなければならない残す者  2.答え-レムナントに神様は準備された答えを与えられる。  1)霊的サミットにならせられる。  2)技能サミット-霊的サミットから出る技能でサミットにならなければならない。  3)文化サミット-霊的な技能の中から出てくる答えが文化サミット  3.あらかじめ-レムナントはすでに準備したので、あらかじめ備えさえすればよい。  1)サミットタイム-レムナントはこの時間を持てばサミットになる。  2)サミット姿勢-サミットなるので、サミット姿勢を持たなければならない。  3)サミット器-サミット器を準備しなければならない。  □結論  1.ヨセフ(創37:11) -ヨセフがどんな人物なのか、ヤコブが心に留めたが成就  2.ダビデ(詩78:70-72) -最も大切な牧場をダビデに任せた。  3.エリシャ(I列19:19-21) -最も難しい時期にエリヤについて行った。  △この祝福を礼拝時間に、賛美するとき、長老が祈るとき、神様のみことば聞いて確認するとき、祈りで味わわなければならない。それだけでも世の中を変える。 | | △大邱のカエル少年事件とアメリカ銃器事故は、憤りにぎっしり埋まった人々のことだ。誰も解決できないことが全世界に起こっている。  □序論-聖書に答え  1.暗やみの中で、私の霊が閉じ込められているため(ヨハ3:19、20)-イスラエルと次世代が滅ぼされる理由  2.イエス様を訪ねてきたニコデモ  1)金持ち(ヨハ19:39) -没薬とアロエ30キログラム(イエス処刑当時)  2)パリサイ人(全国6千人)  3)ユダヤ人の指導者(司法権を持っている公会員)  4)福音を味わえないクリスチャンが見るなら、ロールモデル  3.ニコデモが訪ねてきた本当の目的とイエス様の的外れな答え  △すごいイエス様のしるしを言うニコデモにイエス様は「人が新しく生まれなければ神の国を見ることはできない」と的外れな答え。  1)ニコデモが本当に質問したかったことは「私はどのようにすれば力を持って限界から抜け出すことができるのか」だ。  2)人々の関心が他の所に!-中世の戦争と滅亡、教会問題、精神病が急増する理由  3)主のしもべが違うことに関心があれば死ぬ。  □本論-暗やみを止めることができる道  1.新しく生まれてこそ神の国を見ることができる(ヨハ3:3) -まことの祝福回復  1)Iペテ1:3、23(いのちの種で新しく生まれる)、ガラ2:20、Ⅱコリ5:17、ガラ6:15(新しく創造) -この祝福から受けなさい  2)上から生まれるその力で新しく生まれなければならない-天の御座と三位一体の神様と、そのものすごい力が私に来ている。ユダヤ人が関心がなかったこの力を握りなさい。  3)朝-三位一体の神様と御座の力、時代を変えるミッションが臨む祈りをゆっくりと呼吸とともに始めれば、暗やみから完全に抜け出す  2.聖霊でともにおられて働き-まことの力を回復  1)聖霊の働きを価値なく見て、霊的問題が来ること  2)創41:38(この力を次世代に伝達)、ゼカ4:6、使1:8これを信じるとき、世界福音化が起こる  3)難しい世の中と職場生活-あらゆる事を祈りに変えなさい。  3.暗やみの中に光が必要-まことの光を伝達  1)ヨハ3:20暗やみの中にいる人々  2)私たちに創造の光が必要  3)この光を祈りで受けて伝達すること-イエス・キリストの御名で私と病気の人をいやしてみなさい。「聖霊と創造の光で私をいやしてください」  □結論\_最後の宣教地は  1.イスラエル-3団体の主役、世界3次大戦の原因  2.クリスチャン-福音なく他のところに関心  3.牧会者-世の中のことでない福音を味わいなさい | | 伝道は真実に、心でするならば、続けて開かれる。伝道、宣教するとき、何から知らなければならないのか。  □序論\_傷  △傷は霊的ながんであり、かかればずっと根をおろして霊的成長が止まる。会う人に一番最初に福音の中でこれをなくさなければならない。  1.RT 7(TCK) -行き来するところがなくて、誰も助ける者がなかった。傷が土台となったが、ものすごい伝道者に変わった。  2.ヘブ11章(死) -特徴が死だった。  3.初代教会(断絶) -イエスを信じるという理由で、すべての社会から断絶させてしまったが、ローマまで征服した。  □本論\_サマリヤ伝道  1.時代の障壁(サマリヤ)を崩すこと(4-15節)  1)BC722-アッシリヤの侵略、サマリヤの男たちを奴隷として売って、外国の男たちをサマリヤに連れてきて国際結婚。ユダの人々は雑種として見た  △伝道、宣教分からなければ、暗やみのためにみじめになる。みなさん自体が暗やみを崩す光、サタンに勝つ光だ(マタ5:14、イザ60:1)  2)BC606-バビロンに捕虜になった南ユダ  3)BC450-神殿再建するとき、南ユダの人がサマリヤ人の参加を防ぐのでサマリヤが妨害  4)BC129-サマリヤのゲリジム山の神殿を破壊  5)敵(断絶) -敵のようになって断絶  △そこにイエス様が行ったのだ。  2.個人の傷を崩されたイエス様(16-19、25-30節)  1)五人-前にいた夫五人はあなたの夫ではない。  2)今の夫-あなたの夫ではない。  3)証人-イエスがキリストということを分かる瞬間、証人に変わった。  △相手が傷を出すほどにならなければならない。ここで237、いやし、サミットが24にならなければならない。  3.宗教の傷を洗うべき(20-24節)  1)私たちはゲリジム山で礼拝して、あなたはエルサレムで礼拝するのではないのか  2)神様に-この山でも、あの山でもなくて神様に礼拝するのだ。  3)霊と真理、霊とまことによって-どこでも神様に礼拝すれば神様は霊で働かれる。  △その国に本人を殺す長く続いていること、個人の傷、礼拝を正しくささげられないようにする誤った宗教の傷がある。解かなければならない。  □結論  1.まことの福音-他のことが必要ない。そうしてこそ、他のことを生かすのだ。  2.まことの祈り-すべてが問題にならない。そうしてこそ、すべてを生かすのだ。  3.まことの伝道-神様の主権中にあることだ。   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 朝(静かな祈り) | 味わう祈り | 夜(深い祈り) |   △毎日、新しい力を得なければならない(使1:8) | |